

キリトリ線

郵便はがき

1 0 4 8 7 9 0

1 0 0

東京都中央区築地6-19-20
ニチレイ東銀座ビル

株式会社ニチレイ
財務部 行

料金受取人払

京橋局承認

2304

差出有効期間
平成12年3月
31日まで



ご住所 〒 都道府県 市区郡

ご職業

フリガナ

お名前 満 才

TEL. ()

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
定時株主総会議決権
行使株主確定日 3月31日
利益配当金支払
株主確定日 3月31日
中間配当金支払
株主確定日 9月30日
株式名義書換
停止期間
・4月1日から4月30日まで
・10月1日から10月31日まで

上記のほか、必要があるときは、あ
らかじめ公告したうえ、臨時に一定
期間名義書換を停止する。

上場証券取引所 東京・大阪・名古屋・京都・広島
福岡・新潟・札幌

公告掲載新聞 日本経済新聞

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
第一勧業富士信託銀行株式会社

同 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
第一勧業富士信託銀行株式会社 本店証券代行部

〔郵便物送付先〕 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
電話お問合せ先 第一勧業富士信託銀行株式会社 証券代行部
☎(03)3642-4004 (大代表)

同 取次所 第一勧業富士信託銀行株式会社 全国各支店
安田信託銀行株式会社 本店および全国各支店

キリトリ線

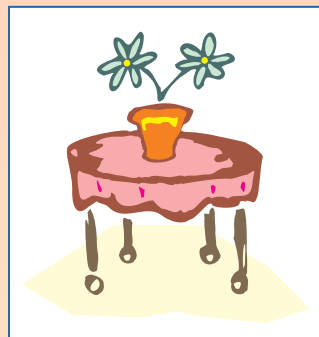


Vol.3

第82期 中間事業報告書
平成11年4月1日～平成11年9月30日



お届けしたいのは、くらしの笑顔。



CONTENTS

ごあいさつ	2
事業概要	3
営業の概況	4
部門別概況	5
決算概要	7
株式の状況	8
KEY WORD	9
INTRODUCTION	10
ヒット商品開発ストーリー	11
会社概要	13

ごあいさつ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第82期中間事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、『くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する』という企業理念のもと、21世紀における発展の基盤を確固たるものにするため、1998年度より「中期構造改革計画」の達成に向けて鋭意取り組んでいます。

当中間期は、資本効率の重視や「お客さまが満足する価値の最大化・最良化」を目標とした事業運営

の改革に努めた結果、経常利益ならびに中間利益は、前年同期の実績を大幅に上回ることができました。

経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予測されますが、今後につきましても、社会や時代への変化に機敏に対応し、スリムで収益力の高い企業体質への転換を図り、さらなる業績の向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成11年12月

21世紀のさらなる発展へ向けて 中期構造改革計画

到来しつつある大競争時代にも持続的な成長を果たせる企業体質の構築を目指し、2000年度までの3カ年にわたる収益構造の改善計画を実施しています。

— 企業理念 —

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

— 基本姿勢 —

真に生活者の方々に望まれ、
評価をいただける商品やサービスを生産性高くお届けする。

— メインテーマ —

- 21世紀における発展の基盤を確固たるものにする。
 - ・ 基幹事業のさらなる強化 環境変化へのすばやい対応
経営資源の重点投入
 - ・ 財務体質の強化 有利子負債の削減



代表取締役社長

手島 忠

事業概要

低温物流事業



低温物流ネットワークを全国に展開し、豊かで安全な食生活をサポートしています。

日本の営業冷蔵倉庫の先駆者として、全国に低温物流ネットワークを展開し、豊かで安全な食生活を支えてきました。従来の保管機能の高度化に加え、多品種少量化、多頻度配送などの時代のニーズに応え、流通の各段階に対して、より効率的な低温物流システムをご提供しています。ニチレイはお客様の良きパートナーであり、信頼される真のサードパーティロジスティクス業者として「物流の全体最適化」を目指し、高度な総合一括物流である 低温物流トータルソリューション を実現していきます。

不動産事業



人と人がふれ合う豊かさを大切に、多彩な快適空間を創造しています。

社有地の有効利用を目的としてスタートした不動産事業では、空間を通じて「人と人のふれ合う」豊かさを皆さまにご提案しています。「ニチレイ東銀座ビル」や「ニチレイ明石町ビル」のような都市型インテリジェントビルを手掛けるなど、多彩な空間価値の創造に努めてきました。また、ニュータウンの造成分譲にも積極的に取り組んでいます。

食品事業

味で、素材で、本物志向の商品を食卓へお届けしています。



加工食品

昭和26年に「冷凍ミカン」などから始まった冷凍食品事業は、調理技術の高度化と生活者のニーズにあった商品開発を進め、トップメーカーとして常に業界をリードし続けてきました。アセロラ関連食品やヘルスケア食品などのユニークな領域もカバーしており、常に新たな商品開発・商品提案に取り組んでいます。

水産品

品質第一を基本に、世界中の産地から活きの良さをそのままパック凍結し、食卓を彩るエビや鮭、カニなどの水産品をご家庭や業務用マーケットにお届けしています。近年は加工品の開発にも力を注ぎ、素材から加工品まで多彩な商品を揃えて、お客様のご要望にお応えしています。

畜産品

品質へのこだわりを大切に、国内はもとより、世界各地の調達ネットワークを駆使して、「安全でおいしい」鶏肉、牛肉、そして豚肉を皆さまの食卓にお届けしています。徹底した品質管理体制のもと、加工技術の向上に努め、市場のニーズにあった商品開発を行っています。

営業の概況

当中間期のわが国経済は、所得減税などにより個人消費は緩やかに回復いたしました。企業リストラクチャリングの本格化に伴い、雇用環境の厳しさが増し、設備投資も大幅に減少するなど、自律的な景気の回復には至りませんでした。

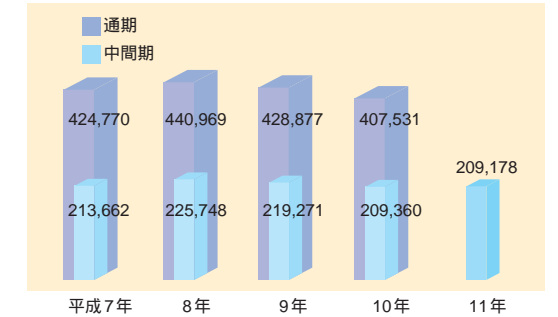
食品関連業界におきましては、外食市場の需要低迷が長引くとともに、小売り段階におけるメーカー間での売り場確保競争が熾烈さを増すなか、消費者の安心・安全・健康志向にあわせた商品開発や品質表示への対応が求められるなど、企業間競争は引き続き厳しいものとなりました。

このような環境下にありまして、当社は、お客様へのニーズにお応えできる商品開発に鋭意取り組むとともに、採算を重視した営業政策を推進し、流通型物流事業の拡充を図るなど、基幹事業の収益改善に努めました。

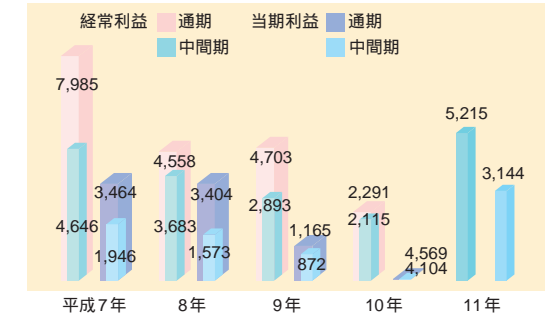
この結果、当中間期の売上高は、2,091億78百万円（前年同期比0.1%の減収）とほぼ前年並みを確保いたしました。経常利益は、利益商材の取扱いの拡大や原料買付価格の低下により食品部門が大幅増益を達成したことから、52億15百万円（前年同期比146.5%の増益）となり、中間利益は31億44百万円を計上することができました。

なお、中間配当金につきましては、安定的な配当の継続を重視するという方針に則り、1株につき3円と決定させていただきました。

売上高（年度/単位：百万円）

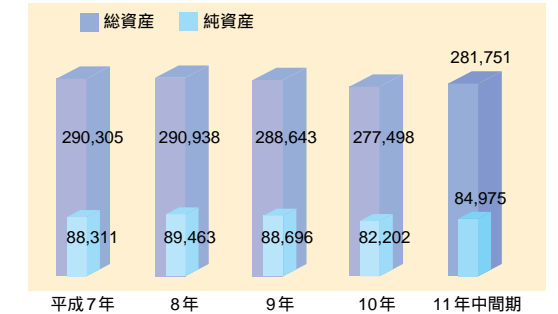


経常利益/当期利益（年度/単位：百万円）



(注)平成10年度より事業税の表示変更を行ったため、各年度の経常利益は事業税額を加算して記載しております。

総資産/純資産（年度/単位：百万円）



部門別概況

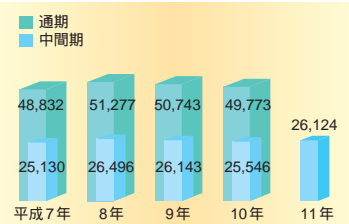
低温物流事業

当中間期の冷蔵倉庫業界は、輸入水産物・畜産物の増加により入庫量は前年同期を上回りましたが、京浜・福岡港湾地区などの庫腹増加や物流合理化の影響を受けて、激しい集荷競争が繰り広げられたため、稼働率は前年を下回りました。当社は、各支社に物流提案チームを設置するとともに、大都市を中心として営業体制をブロック制に移行し、地域・ブロックにおける営業活動を積極的に展開する一方、荷役作業コストの低減や事務の効率化に取り組みました。また、量販店・問屋を中心に物流業務の外注化の動きが旺盛となるなか、お客さまのニーズにお応えした物流システム提案により、流通型物流サービスセンターを埼玉県に2カ所開設することができました。この結果、売上高は261億24百万円(前年同期比2.3%の増収)となりました。



人間LSC

低温物流事業の売上高(年度/単位:百万円)

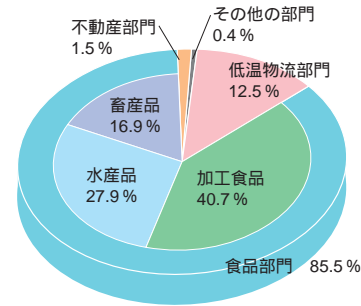


牛久駅西ニュータウン

不動産事業の売上高(年度/単位:百万円)



部門別売上高構成比



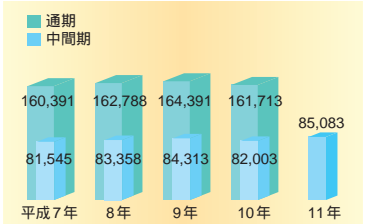
食品事業

加工食品

当中間期の冷凍食品市場は、業務用は外食市場が低迷しましたが、家庭用は順調に拡大を続けました。当社の家庭用は、「わが家のこだわり こんがり焼おにぎり」などの新商品が売上げに大きく寄与いたしました。業務用は、不採算商品のアイテムカットなどにより前年同期を下回りました。また、レトルト食品・缶詰は、業務用「レストランユースビーフカレー」がヒット商品となりましたが、商品の絞り込みなどにより売上高は減少いたしました。アセロラ関連商品では、健康食品としての訴求効果が現れ、売上げは飛躍的な伸びとなりました。以上の結果、売上高は850億83百万円(前年同期比3.8%の増収)となりました。



加工食品の売上高(年度/単位:百万円)

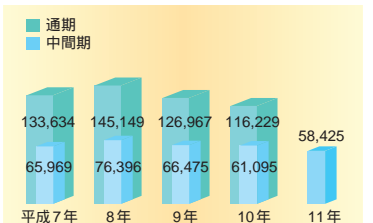


水産品

当中間期の水産業界は、円高や海外漁場の回復などにより輸入量は増加いたしました。個人消費の伸び悩みから、荷動きは低調なものとなりました。当社は、海外仕入先への生産指導の強化により品質の向上を図る一方、生協、外食などの新規ユーザーの開拓に努め、収益の安定性を重視した結果、収益面で成果を挙げることができました。なお、販売数量は前年並みを確保したものの、主力商品のえび、たこなどの単価安により、売上高は584億25百万円(前年同期比4.4%の減収)となりました。



水産品の売上高(年度/単位:百万円)

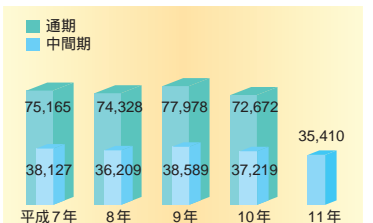


畜産品

当中間期の畜産業界は、外食・中食市場の需要は堅調に推移したものの、量販店などの取扱いが前年割れを続けたことなどから、需給関係は依然として改善されませんでした。当社は、安心・安全・おいしさを追求した素材の開拓や、外食・量販店ルートへの拡販に努め、販売数量は前年同期を上回りましたが、相場が軟調に推移したため、売上高は354億10百万円(前年同期比4.9%の減収)となりました。



畜産品の売上高(年度/単位:百万円)



決算概要

中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第82期 平成11年9月30日現在	科 目	第82期 平成11年9月30日現在
資産の部		負債の部	
流動資産	130,627	流動負債	103,375
現金・預金	3,335	支払手形・買掛金	29,061
受取手形・売掛金	62,241	短期借入金	22,439
有価証券	20,559	コマーシャルペーパー	15,000
棚卸資産	29,429	社債(1年以内償還)	10,000
繰延税金資産	2,427	長期借入金(1年以内返済)	2,165
その他の	13,077	その他の	24,708
貸倒引当金	443	固定負債	93,400
固定資産	151,124	社債	55,000
有形固定資産	111,432	転換社債	6,307
建物	60,552	長期借入金	11,436
機械装置	15,395	繰延税金負債	1,642
土地	28,725	引当金	533
その他の	6,759	預り保証金	18,481
無形固定資産	2,036	負債合計	196,775
投資等	37,655	資本の部	
投資その他	38,241	資本金	30,307
貸倒引当金	586	法定準備金	29,029
資産合計	281,751	剰余金	25,638
		(うち中間利益)	(3,144)
		資本合計	84,975
		負債及び資本合計	281,751

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 119,197百万円
2. 保証債務 33,515百万円

3. 1株当たり中間利益 10円11銭
(中間期末発行済株式数による)
4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第82期 平成11年4月1日から 平成11年9月30日まで
売上高	209,178
売上原価	173,349
販売費及び一般管理費	29,752
営業利益	6,076
営業外収益	1,894
営業外費用	2,755
経常利益	5,215
特別利益	5,412
特別損失	4,933
税引前中間利益	5,694
法人税、住民税及び事業税	2,773
法人税等調整額	223
中間利益	3,144
前期繰越利益	2,063
過年度税効果調整額	562
税効果会計適用に伴う措置法積立金取崩額	3,753
中間未処分利益	9,523

(注) 1. 当中間期から税効果会計を適用しております。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成11年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 720,000,000株
発行済株式の総数 310,851,065株
1単位の株式数 1,000株
株主数 34,528名

大株主

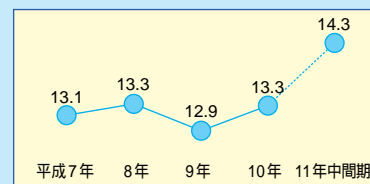
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友信託銀行株式会社(信託口)	21,870	7.0
日本生命保険相互会社	18,539	6.0
株式会社富士銀行	13,655	4.4
安田信託銀行株式会社	10,133	3.3
日産火災海上保険株式会社	9,968	3.2
三菱信託銀行株式会社(信託口)	6,151	2.0
株式会社日本興業銀行	5,514	1.8
株式会社第一勧業銀行	5,403	1.7
第一生命保険相互会社	5,351	1.7
農林中央金庫	5,350	1.7

(注) 安田信託銀行株式会社の持株数には、信託業務に係る株式4,962千株が含まれております。

ポイント

営業資金(運転資金)の効率的な管理・運用により、棚卸資産回転率が改善いたしました。
棚卸資産回転率
= 当中間期売上高 × 2 ÷ (前期末棚卸資産 + 当中間期末棚卸資産) ÷ 2
収益の回復や設備投資の抑制などにより、有利子負債は前期末に比べ45億28百万円減少し、1,223億48百万円となりました。

棚卸資産回転率(年度/単位:回転)



ポイント

売上高はほぼ前年同期並みとなりましたが、加工食品の増益や水産品などの採算改善などにより、経常利益は前年同期に比べ3,099百万円増加いたしました。
賃貸用オフィスビル賃料支払請求訴訟に係る和解金3,604百万円や、北米事業再編に伴う債務保証損失引当金の洗替えによる取崩額1,800百万円などの合計額5,412百万円を特別利益に計上いたしました。
資産の健全化・流動化を図るため、固定資産の売却及び除却などで総額4,933百万円の特別損失を計上いたしました。

● 四季鶏

おいしくて、とってもヘルシーな、オリジナルブランド『四季鶏』。

当社独自のブランド『四季鶏』は、トウモロコシや大豆ミールなど植物性の飼料で育てた鶏です。通常のプロイラーと比べると脂質が少なくヘルシーなうえ、肉質はやわらかくジューシーですので、あらゆる料理にマッチします。お弁当向けのロングセラー「からあげチキン」にも『四季鶏』を使用して、この秋さらにグレードアップしました。これからも水産品や畜産品の素材食品を取り扱うニチレイの強みを活かし、加工食品にもこだわりの素材を使用していきます。



KEYWORD

ニチレイならではの企業活動やトピックスなどをキーワードによりご紹介いたします。

● 保冷宅配便「飛脚クール便」

低温物流ネットワークと総合力により、保冷宅配サービス全国展開のパートナーに。

宅配便を中心とした小口貨物輸送市場の規模は順調に拡大してきており、特に保冷貨物輸送サービス（クール便）市場は今後も成長分野であると期待されています。こうした事業環境のなか、当社は、本年3月、「飛脚クール便」という保冷宅配サービスの全国展開を目指す佐川急便株式会社との間で、保管配送拠点の提供と関連物流業務の包括受託に関して業務提携いたしました。「クール便」市場では品質管理面などできめ細かな対応が必要であり、当社の全国冷蔵倉庫拠点とこれまで培ってきた低温保管・物流技術に裏打ちされたノウハウが、「品質・コスト・スピード」の3つの事業コンセプトを掲げる「飛脚クール便」の全国展開を強力にアシストしています。

パブリックな物流事業者として、これまでと異なる複合的な物流提案・サービスを提供できるニチレイにご期待ください。



INTRODUCTION

とくにご好評の商品をご紹介します。



新・レンジ生活

衣がサクサク あらびきジューシーメンチカツ



黒胡椒で粗挽き肉の旨みをひきだしたジューシーなメンチカツです。お弁当に使いやすい小さめのサイズです。彩りと食感の良いキャベツをたっぷりを使い、食べやすく仕上げました。

新・レンジ生活

ポテトカレーコロッケ



子どもたちの大好きなカレーがコロッケになりました。中身は大きめにカットしたじゃがいもがたっぷりのカレーです。りんごとチャツネでマイルドに仕上げました。

秋の実り 栗おこわおにぎり



ほんのり甘い栗をたっぷり入れた、おこわおにぎりです。今年はさらに素材にこだわり、北海道産の大納言あずきを使用しました。ごま塩の風味がおいしさをいっそうひきたてます。

アセロラCマイルド



天然ビタミンCがたっぷりのアセロラの自然な味わいを楽しめる、スッキリした味わいの清涼飲料水です。1パックでレモン約7個分の天然ビタミンCが含まれています。

商品開発の最前線、21世紀の冷凍食品を作ろう！

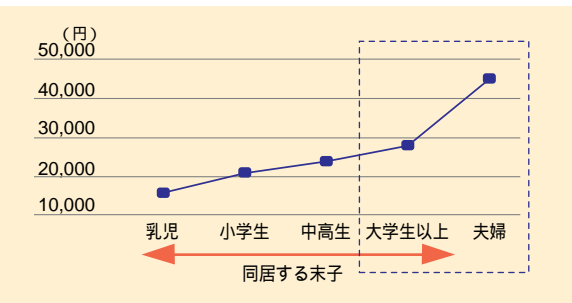
「ザ・ソース・クッキング」シリーズ

商品開発担当者から

当社は、商品開発こそがメーカーの生命線！と考え、ヒット商品作りに日夜取り組んでいます。「日経POS新商品ランキング」では、当社の冷凍食品が常に上位ランキングを占めています。

こだわりの素材や高度な調理加工技術を活用することはもちろん、これらをいかに徹底できるかがヒット商品を生み出すポイントです。そして、さらに求められているものは、「生活者の未来を見据えた商品」の開発・提案です。この中長期的な視野を見失わないことこそが、当社がヒット商品を作り続けられる基盤になると考えています。

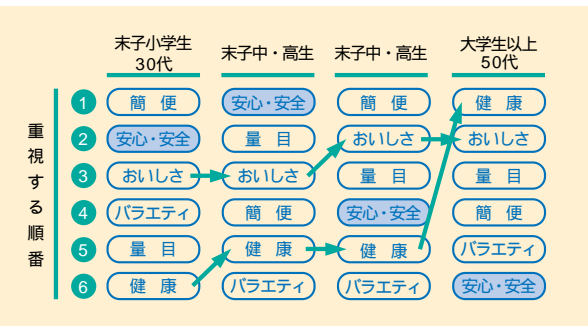
月平均1人当たりの食支出



「ザ・ソース・クッキング」シリーズは今秋新発売いたしました。この商品の狙いは二つあります。

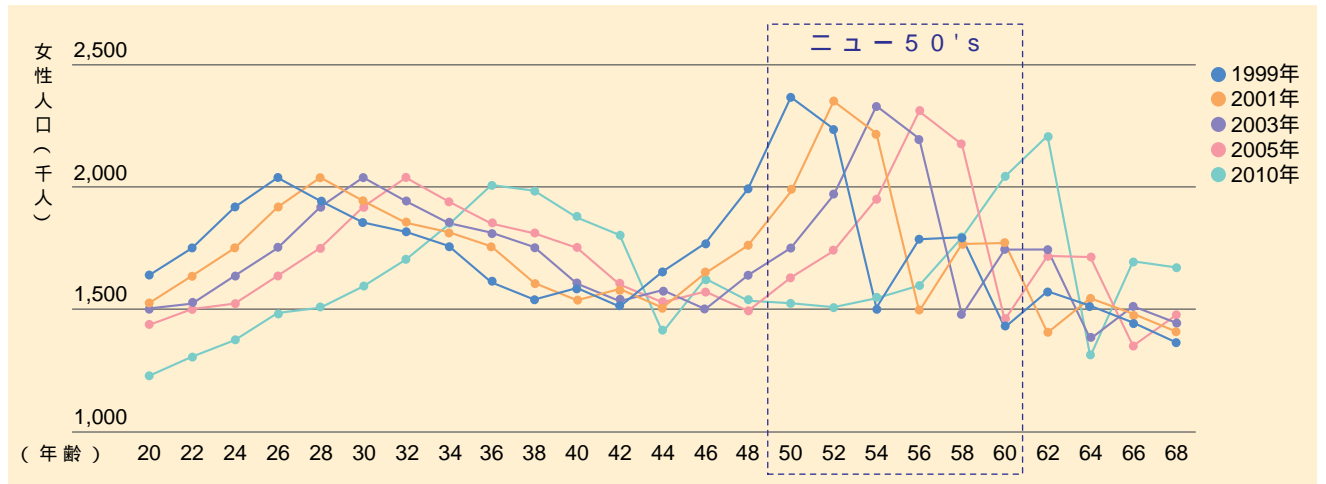
「ニュー50's (フィフティーズ)」と呼ばれる新しい市場をターゲットにしました。日本の消費をリードしてきた団塊の世代は、子どもが巣立ち、夫婦ふたりの消費形態に戻る50代になり、最大需要層となるのです。「ニュー50's」は、より健康とおいしさを意識し、常に食生活の楽しさを追求する元気な人々です。

子どもの独立に伴い「安心・安全」から「健康」へキーワードが変化



二つめの狙いは、本格的な調理にもふさわしい冷凍食品を作ることにより「ニチレイの冷凍食品はとびきりおいしいもの」という信頼を創り上げることです。

年齢別女性人口の推移予測



男性もこの軸の範囲ではほぼ同数 出典：厚生省統計



ザ・ソース・クッキングを使った調理例

「ザ・ソース・クッキング」シリーズは、ご家庭で一流シェフの料理を短時間で再現できる調理ソースで、フレンチをベースにした無国籍料理を確立した熊谷喜八さんの調理レシピをパッケージにプリントしています。一切の妥協をすることなく、徹底的にこだわった商品であり、「冷凍食品でここまでおいしさを生み出すとは思わなかった...」というムッシュ・熊谷のお言葉をいただきました。今のところ、販売エリアは限定されていますが、肉や魚介類などと合わせて加熱するだけで、ご家庭で簡単に本格的な料理が作れる「ザ・ソース・クッキング」シリーズ。冷凍食品の印象が大きく変わられること間違いありません。是非一度お試しください。

会社概要

(平成11年9月30日現在)

社名 株式会社ニチレイ
所在地 東京都中央区築地六丁目19番20号
 ニチレイ東銀座ビル
設立 昭和17年12月
役員 代表取締役社長 手島 忠
 専務取締役 中野 勘三
 専務取締役 吉川 好治
 専務取締役 山口 修司
 常務取締役 福田 厚司
 常務取締役 原直 弘彦
 常務取締役 村上 英彦
 取締役 横田 浩二
 取締役 後藤 一彦
 取締役 島津 忠之
 取締役 大戸 武元
 取締役 榎 敏秀
 取締役 前嶋 弘一
 取締役 千葉 充幸
 取締役 浦野 光人
 取締役 遠山 昌利
 取締役 椎橋 治男
 取締役 笠井 昌剛
 取締役 荒山 裕修
 取締役 相馬 義比古
 常任監査役(常勤) 北文 男
 監査役(常勤) 浜田 鴻之介
 監査役 河上 和雄
 監査役 内野 治泰

従業員数 2,475名
会計監査人 太田昭和監査法人
 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
 日比谷国際ビル

**ホームページ
 アドレス** <http://www.nichirei.co.jp/>

支社
北海道支社 〒060-0010 札幌市中央区北10条西20-2-20
 ☎(011)631-0178
東北低温物流支社 〒980-8486 仙台市青葉区中央3-2-1
 ☎(022)711-2101
東北営業支社 〒980-8486 仙台市青葉区中央3-2-1
 ☎(022)711-2101
関東低温物流支社 〒104-0043 東京都中央区湊3-5-7
 ☎(03)3297-4501
関東営業支社 〒104-0043 東京都中央区湊3-5-7
 ☎(03)3297-4501
中部低温物流支社 〒456-0072 名古屋市熱田区川並町2-16
 ☎(052)683-2551
中部営業支社 〒456-0072 名古屋市熱田区川並町2-16
 ☎(052)683-2551
関西低温物流支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-4-8
 ☎(06)6263-2555
関西営業支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-4-8
 ☎(06)6263-2555
九州低温物流支社 〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-7-5
 ☎(092)841-6700
九州営業支社 〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-7-5
 ☎(092)841-6700



本社

アセロラの日 ビタミンCの王様

5月12日はアセロラの日です。

日本国内におけるアセロラ生産の草分けである沖縄県本部町では、本年4月、毎年アセロラ初収穫の時期にあたる5月12日を「アセロラの日」と制定いたしました。当社では、この日に合わせて、スーパー、コンビニエンス・ストアなどでアセロラキャンペーンを開催いたしました。



HOPPE

本誌「HOPPE(ほっぺ)」の由来

安心・安全でおいしい製品をお届けする総合食品企業・ニチレイのイメージを、健康的で暖かい語感を持つ“ほっぺ”に、希望を意味する“Hope(ホープ)”をかさね合わせたネーミングで表現してみました。この「HOPPE」を通して、株主の皆さまに暮らしのさまざまな分野で貢献するニチレイをご理解していただければ...と考えています。

株主の皆さまへ **アンケートのお願い**
 当社は今後も事業報告書を株主の皆さまとのコミュニケーションの場として充実させていきたいと考えています。お手数ですが、次のアンケートにご意見、ご感想をお寄せください。(切手を貼らずにご投函ください)

株主の皆さまへ **アンケートのお願い**

当社の株式をご所有になって、どのくらいになりますか？

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上

当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか？

- 1. 長期保有
- 2. 買い増し
- 3. 売却
- 4. 未定

また、上記方針を決定するための判断材料は何でしょうか？

- 1. 株価
- 2. 配当
- 3. 業績
- 4. 将来計画
- 5. その他()

HOPPE の掲載内容についておたずねします。

- 1. 参考になる
- 2. 読みやすい
- 3. 情報量が豊富
- 4. ユニークである
- 5. その他()

今後 HOPPE で取り上げて欲しいテーマがありましたらお聞かせください。